

SDGsにも貢献！ あなたにもできる食品ロス削減 事業実施主体:わかやま市民生活協同組合(和歌山県)

- 食への感謝が薄れている昨今、一人ひとりが食べ物の背景を考え、地域や家庭から身近に取り組むことができる食品ロス削減を学ぶことで、食への感謝の気持ちを深めることを目的に講演会を開催。
- グループワークを取り入れることで、参加者と食品ロスに対する考えを共有し、実践に向けた意欲を醸成。

和歌山県

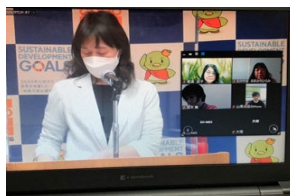


【取組の内容】

- 「SDGsにも貢献 ～あなたにもできる食品ロス削減～」をテーマに講演会を開催(参加者:46名)。
- 食品ロスとは何か、年間どれくらいの量が廃棄されているのか、またそれにより環境に及ぼす影響など、数値や画像でわかりやすく示し、参加者に実感してもらうことで環境との関りを学習。
- 他の地域の取組などを参考に、自分たちで食品ロスを減らすために今日からできることをグループに分かれ意見を出し合い、発表して共有。
- 取組の内容を機関紙に掲載し、約5万世帯に配布。



本会場での講演の様子



オンライン参加者と会場参加者との意見交流



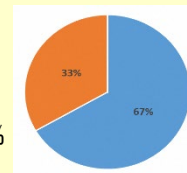
本会場の様子

【取組の成果】

- グループワークでは、自分たちから考え方を変えていかないといけないと再認識した、消費者も家の冷蔵庫や保存している食材の管理などを徹底し、消費できる分を購入していく必要がある、手前取りを実践していく等の意見が出された。
- 今年度初めて、ハイブリット方式による講演会を実施し、多くの方に参加いただけたことで、広く周知・啓発することができた。(半数以上がリモート参加)

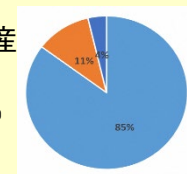
【事業の目標】

- 食品ロス削減のために何らかの行動をしている者の割合  
現状値 76.5% → 取組実施後 100%



- ・購入しようと思う 67%
- ・どちらかと言えば購入しようと思う 33%
- ・購入しようと思わない 0%

- 産地や生産者を意識して農林水産物・食品を選ぶ者の割合  
現状値 65.3% → 取組実施後 96.3%



- ・今まで以上に(今までどおり)選ぶと思う 85%
- ・これからは選ぶと思う 11%
- ・選ぶとは思わない 0%
- ・どちらとも言えない 4%